



橋北中学校だより

令和5年11月2日(木)

第8号 文責:奥田
津市立橋北中学校

文化祭・コーラスコンクール



10月18日(水)、26日(木)に令和5年度の橋北中学校文化祭・コーラスコンクールを開催しました。本来ならば、3学年総合文化センターの中ホールでコーラスコンクールを行う予定でした。しかし、直前になり2年生でインフルエンザが流行し、2年生は学年閉鎖を行うこととなり、18日は1年生、3年生のみでのコーラスコンクールとなりました。はじめて経験する1年生は緊張しながらも元気のいい歌声を聴かせてくれました。その頑張りにこたえるように3年生は聴く者に感動を与えるすばらしい合唱を中ホールに響かせてくれました。3年生の合唱を聴いた1年生にもその姿がしっかりと心に焼き付く、圧巻の合唱でした。審査員長の近藤先生のことばにもありましたが、2学年離れた合唱を聴き、2年間の経験がどれだけ大きいか。そしてその経験は間違いなく力になっていることを実感できるコーラスコンクールになったと思います。



翌週の26日には2年生のコーラスコンクールと吹奏楽部の演奏を会場は体育館になりましたが、行いました。急な変更で直前に十分な練習ができない状態でのぞんだ2年生でしたが、心を折ることなく、自分たちのこれまでの取組を精いっぱい発揮しようとする真摯な姿は聴いている者の心を打ちました。中ホールで歌うことができなかった悔しさは来年、力となり、さらにみんなを感動させる歌声を聴かせてくれることでしょう。

2日間のコーラスコンクールを終え、3年4組の「群青」が今年度のグランプリ合唱に輝きました。中ホールで(暫定)グランプリの発表を聞いた瞬間の歓喜。本気で取り組んできたからこそ喜びが爆発したんだと思います。

大きな行事を終え、間違いなくみんなは変わったはずです。学級の仲間との距離もより近くなったんじゃないでしょうか。令和5年度の後半戦、みんなで力を合わせ、励まし合いながらすごしていきましょう。



職場体験学習発表会

文化祭ではコーラスコンクールとあわせて2年生の職場体験学習発表会も行いました。9月13日から3日間、70か所以上の事業所での活動を来年経験するであろう1年生と昨年は実施できなかった3年生に向けて報告しました。どの発表からも実際に働いてみて、これまで抱いていた仕事や働くことに対する考え方が大きく変わったという言葉が聞かれました。外から見ていた時には簡単な作業だと思っていたことが、細かな気配りのもと行われていることや一日中、立ったままの仕事がどれほど大変なことなのか。やってみてはじめて分かることが多かったようです。また、事業所のみなさんとふれ合う中で、働くとは「社会のためになること」、「人に喜びを与えること。それが自分の喜びにつながる。」ということに気づいた人も多かったようです。

当日は体験でお世話になった事業所のみなさんも参観していただきました。3日間の活動も今回の発表も一生懸命取り組んでいる姿を讃えるうれしい言葉をいただきました。

地域とともに

2学期は地域で生徒たちが活動する機会をたくさんいただきました。以前のたよりでも紹介いたしましたが、9月には音楽の集いで吹奏楽部が演奏する機会をいただきました。当日は演奏だけでなく、案内や受付もさせていただき、少しでも地域に貢献する喜びを感じることができました。10月に入り、21日(土)に南立誠地区社会福祉協議会の花植え活動に参加しました。春に続く2回目の活動でしたが、個人や部活動として多くの生徒が参加してくれました。地域の方や小学生と一緒に楽しみながら活動する姿はとてもいいものでした。冬から春にかけて、沿道をパンジーやビオラが彩ってくれます。さらに29日(日)には南立誠地区自主防災訓練に卓球部女子が参加してくれました。今回は10人でしたが、災害時には中学生の力が期待されています。近い将来、必ずやってくるといわれる大地震をはじめ、豪雨等の災害時に中学生が重要な存在となれるよう、これらの活動への参加意識が高まっていけば幸いです。

今年度の全国学力・学習状況調査の生徒質問紙において「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」という質問に対して、肯定的な回答をした割合は依然高いものの、年々下降傾向が見られました。こうした地域の活動への参加を通して、人の役に立つことの幸福感を感じてくれればと思っています。

